

自由民主党 衆議院議員 村井 ひでき 通信 第28号



衆議院議員 村井ひできです。

令和の時代が幕を開けました。令和の時代も、「平和」を守り抜き、また先進諸国で見られる「格差」「分断」に端を発した社会の不安定化をいかに防ぎ、次の時代に良い形でたすきを繋いでいけるか。

まさに、我々世代に課せられた使命です。

本号では、そんな新たな思いで取り組んだ、最近の村井ひできの活動を報告させていただきます。

巨大IT企業“GAFA”向けの新たなルールづくりをリード！

上半期、最も注目を集めたのは、“GAFA”など巨大IT企業向けのルールづくりです。こうした企業については、我々に便利なサービスを提供してくれる一方、強力な交渉力を背景に、取引先に不公正な取引を強いているのではないかと、個人データが不正に扱われているのではないかと、など懸念の声が上がっています。

私は、競争政策調査会の事務局長として、関係者からヒアリングを進め、「デジタル・プラットフォーム取引透明化法」の策定など、デジタル経済時代の新たなルールづくりをリードしました。(裏面に関連記事)



「人生100年時代の社会保障改革」が、いよいよ実現段階へ！

小泉議員をはじめ、有志の若手議員と一緒に3年前から取り組んできた「人生100年時代の社会保障改革」を、党の正式機関である厚生労働部会で「新時代の社会保障改革ビジョン」として取りまとめ(詳細は6月8日村井ひできブログ参照)。政府の政策の方向性を示す「骨太の方針」にも盛り込まれました。

「官邸主導」「政高党低」とも言われる中、生活に密着した社会保障分野で、若手が率先して政策提言し、党内の喧々諤々の議論を経てコンセンサスを得たことに、各方面からご評価を頂きました。



「朝まで生テレビ！」に、与党議員を代表して出演！

5月31日(金)深夜放送の「朝まで生テレビ！」に出演。テーマは、外交から経済まで幅広く、また「朝生」独特の雰囲気の中で、野党のベテラン議員の皆さんから、政権のあり方を激しくご批判頂きましたが、与党議員の代表として、しっかり事実関係を説明させて頂きました。「朝まで」なので翌日はつらかったですが、テレビ局の方から「また出演してください」とお声がけを頂いたので、折を見てまた出演したいと思います。



田原総一郎さんの著書で「次世代のリーダー」に選出！

田原総一郎さんの新著「令和の日本革命(仮)」(講談社から6月20日発売予定)の中で、小泉進次郎議員、福田達夫議員(父は福田康夫元首相)、小林史明議員と共に、「次世代のリーダー」として選出頂きました。

この本は、田原さんと4名の議員とのそれぞれの対談をまとめた形になっており、田原さんと私のやりとりも数十ページにわたり掲載されております。是非ご一読下さい。



学童保育の充実に向け、皆さんの声をお聞かせください！

学童保育は、従来保育の必要がある一部の学童向けの「生活・遊びの場」とされ、財政支援も限定的なものに留まってきました。一方、共働き世帯が7割、学童保育(補助制度内)の利用率も3割に達する中で、“量”(さいたま市内でも待機児童問題が発生)と“質”(「学び」や「習い事」など教育的要素も含めて欲しい等の声)の両面に課題があります。現在、加藤勝信前厚労大臣の下で政策づくりを進めています。より皆様の声を適切に反映するためアンケートを実施しています。

よろしければ右記QRコードから是非ご参加下さい。



「毎日政経文化セミナー」で、小泉進次郎議員と対談！

5月13日、毎日新聞主催の「毎日政経セミナー」が埼玉会館で開催。セミナーは小泉議員の講演と、小泉議員と私のディスカッションの2部構成で行われました。会場いっぱいにお集まり頂いた約1300名の皆さんの温かい雰囲気もあり、国政で共に取り組んでいることや、二人のなれそめ・日常など、予定の2時間を超過して様々な話をさせて頂きました。その模様は毎日新聞HPからご覧頂けます。



米国ワシントンD.C.訪問 ～「令和の時代」も、日米同盟は我が国外交・安全保障の基軸！～

GW期間中、山下法務大臣、小泉議員、福田議員、大野敬太郎議員と、米国ワシントンD.C.を訪問。トランプ政権でアジア政策を担当するポットインジャーNSC上級部長や上院議員らとの会談・シンクタンク関係者との意見交換・CSIS(※)での講演など、濃密かつ有意義な訪米となりました。(※米国を代表するシンクタンクで2013年安倍総理も講演を行いました。)

今回の訪米を通じ、改めて米国社会が直面する「分断」「格差」の根深さを感じました。米国は「資産上位1%の人の資産が、下位90%の人の資産より多く、所得上位1%の人の所得が、全体所得の20%を超える」という状況で、経済全体は成長していますが、経済的に困窮する人が増加。そこに、人種や宗教の問題が絡み合い、社会全体が内向き化していることを懸念する声が多く聞かれました。

実は、こうした米国社会の変化が、将来的には、我が国の安全保障にとっても大きな影響を与える可能性があります。言うまでもなく、日米同盟は、我が国外交・安全保障の基軸です。ただし、同盟関係は、常に同盟国の紛争に「巻き込まれるリスク」と、同盟国から「見捨てられるリスク」にさらされており、従来、

我が国では、米国の紛争に巻き込まれるリスクが強調されてきました。しかし、東アジアの安全保障環境が厳しさを増す中、米国が内向き化していくと、我が国が安全保障上危機に直面した際、米国内で「同盟国を守るより、国内で困っている人を助けることを優先すべき」との世論が高まるおそれがあります。

令和の時代も、我が国の平和を守り抜いていく。そのためには、米国の国内情勢への理解と、政策担当者との緊密な連携が不可欠であると感じさせられる訪米となりました。



左は、日本でもお馴染みアーミテージ元国務副長官と。右は、ハドソン研究所ワインシュタイン所長と談笑する様子。視察を通じて、多くの方々から、若手議員団で訪米したことを大変喜んで頂くと同時に、メンバー全員が通訳なしで、英語で意見交換や講演を行ったことを高く評価して頂きました。



写真はCSISでパネルディスカッションをした際、村井のジョークで皆が笑っている時のもの。200名を超える方々に前に、我が国が抱える課題や日米関係の今後などについて、お話しさせて頂きました。映像はCSISのHPからご覧頂けます。

村井の訴え ～5分で分かる「GAFGA」を巡る政策議論の状況～

最近、「GAFGA(ガーファ)」という文字を目にすることが増えました。実は、「GAFGA」を巡って世界的に様々な議論が行われております。ここではそのポイントを紹介いたします。

そもそも「GAFGA」とは何か

GAFGAとは、Google、Apple、Facebook、Amazonの米国IT企業の頭文字から作られた造語です。今や、多くの方がお持ちのスマートフォンは、アップルのiPhoneか、グーグルの 안드로이드 です。また、アマゾン、オンラインショッピングで有名です。元々は書籍販売中心でしたが、現在では、オンライン上で何でも販売する企業に成長しました。そして、フェイスブックは、ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス(SNS)と言われるサービスの中心的存在で、オンライン上で友達登録をすると、友達がオンライン上に上げた写真や近況を閲覧したり、会話することができます。最近、若い方に流行している写真を共有できるインスタグラム(「インスタ映え」で有名)も、フェイスブックが提供しています。このように、GAFGAのサービスは、我々の生活に欠かせない存在になっています。

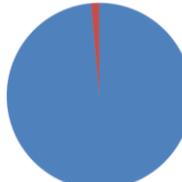
無料サービスの秘訣

しかし、最近、これらの企業を巡って、大きな問題が指摘されています。どのような問題があるのか。身近な例として、グーグルの検索サービスを取り上げます。スマホやパソコンでグーグルのHPにアクセスし、調べたい言葉を打ち込めば、瞬時に様々な情報を入手できます。グーグルに聞けば、何でも分かる。「ググる」という言葉があるくらい、非常に便利なサービスです。ポイントは、これが無料で利用できることです。なぜ、こんなに便利なサービスが無料なのか。それは、グーグルが、我々の個人情報を利用してからです。グーグルは、我々が何を検索し、どのHPにアクセスしたか、という情報を把握。そして、検索ページ等に、我々の関心に沿った広告をさりげなく入れ、個人の行動を誘導するとともに、企業から広告料金を取っています。このように、個人から無料でデータを吸い上げ、企業向けに様々なサービスを販売することこそ、グーグルのビジネスモデルです。そして、GAFGAと呼ばれる企業は、こうした特徴を共有しています。GAFGAは、個人に無料でサービスを提供しつつ、大量の個人データを吸い上げ、そのデータを分析して、広告や電子商取引など様々なサービスを考案し、企業に販売することで、多額の利益を上げています。

Googleの収益構造
(約9割が広告事業)



Facebookの収益構造
(ほぼ全てが広告事業)



■ 広告事業 ■ 非広告事業

GAFGAにまつわる「問題点」と「大いなる可能性」

ここから、大きく二つの問題が生じます。まず、個人は、知らない間に、大量の個人情報をGAFGAに提供しています。当然、プライバシーや個人情報保護が問題になります。また、GAFGAは大量の顧客情報を独占していますので、取引先の企業に強い立場で交渉することができます。例えば、中小企業は、GAFGAに商品を出品する際に、不当に高い料金を突きつけられても、簡単には断れません。

他方で、GAFGAは我々に「大いなる可能性」を与えてくれる存在でもあります。個人は、地図、検索、メール等の多様なサービスを無料・安価で利用できます。中小事業者も、GAFGAと提携すれば、海外を含む大きな市場にアクセスすることができます。

GAFGAなど巨大IT企業向けの「新たなルール」を策定

こうした状況をふまえ、政策的には、GAFGAの持つ前向きな可能性を最大限引き出しつつ、問題点を適切に解決するルール整備を進めなくてはなりません。そのため、自民党競争政策調査会では、私が事務局長として検討を推進。そして6月、自民党の提言を受けて、政府の政策パッケージが閣議決定されました。

まず、政府に、デジタル市場に関する専門組織(デジタル市場競争本部)を創設し、GAFGAの幅広い活動を専門的に評価・分析する体制を整備。また、デジタル市場の透明性や公正性を確保するため、デジタル・プラットフォーム取引透明化法の策定を決めました。さらに、個人情報保護法に、個人が自らのデータの利用停止を企業に求められる仕組みの導入などを行うこととしました。ルールの詳細はまだ詰めなければなりませんが、これらが実現すれば、国内企業が公平な条件でGAFGAとビジネスできるようになり、個人も安心してGAFGAのサービスを利用できます。

デジタル資本主義の時代を迎えて

21世紀は「データ」の時代です。成長のエンジンは、「石油」から「データ」に変わっていきます。データを上手く使えば、便利で安価なサービスが提供できる。GAFGAは、実はそうした21世紀型デジタル資本主義のパイオニアです。今後は、GAFGAに負けず、日本企業にもデジタル分野で活躍してもらう必要があります。特に、大きな可能性のある、自動車・住宅・医療などの分野で、いち早く様々なデータを収集・分析し、自動運転や予防・健康サービスなど、画期的サービスを世界に先駆けて生み出すことが期待されます。

政治の側も、日進月歩のデジタル分野で、常にアンテナを高く保ち、データを利活用するためのルール整備を進め、今後の成長産業の育成を促していかなくてはなりません。そして、デジタル資本主義が、一部の人のためではなく、我々の普段の暮らしをもっと便利でもっと豊かにしていくための仕組みづくりを進めて参ります。

【こども国会見学会 今年も開催します！】

昨年大好評だった、「こども国会見学会」を、今年も開催します。国会は、閉会中の可能性が高いですが、村井自身が、国会の役割や、普段の仕事内容等について、丁寧にお話しさせていただきます。お子様の夏休みの思い出作りは勿論、宿題や自由研究にもご活用ください。昨年は、ご出席頂いた三室小学校の5年生の国会見学記事が、朝日小学生新聞に掲載されました！

【第1回】7月29日(月)

【第2回】8月5日(月)

【第3回】8月13日(火)

※各回、原則小学生のいるご家族50名様まで(先着順)
※会費 お一人様1,000円(昼食代)



【お問合せ・お申込み】浦和事務所 TEL:048-711-3241

【編集後記】

最近、多くの方から「衆参ダブル選挙はあるの?」と質問されます(6月12日時点)。あるかないかは正直私には分かりませんが、それはさておき、我が国の政治ニュースは、あまりに「政局」により過ぎている気がします。「解散の有無」・「ポスト安倍」も重要ですが、もう少し、「政策」にスポットライトを当てて欲しいなと思います。綺麗ごとかもしれませんが…。米国の上院議員には、1人50名のスタッフがいて、政策作りも議員事務所ごとに組織だって行われています。我が国は、従来より、政策立案機能が「霞が関」に独占されており、メディアも有権者の皆さんも、政治家に、政策作りを期待していないのかもしれませんが、ただ、激動が予想される令和の時代、元来変化への対応力の弱い官僚組織では果たせない役割が、政治には大いにあると信じ、今後も精進を続けて参ります。

なお、我が家では、4歳の長男、2歳の二男に続いて、3人目が生まれることになりました。3人目は、女の子かなと思いましたが、どうやら男の子のようです。何はともあれ、無事に生まれてきてくれることを、願っております。

【村井ひできミニプロフィール】

昭和55年さいたま市生まれ。39歳。家族：妻・長男(4歳)・二男(2歳)。浦和市立別所小学校卒業。東京大学卒業後、財務省入省。ハーバード大学大学院修了。平成23年財務省退官(主税局参事官補佐)。平成24年12月第46回総選挙初当選。平成26年12月第47回総選挙再選。平成29年10月第48回総選挙3選。

地元事務所

国会事務所

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-27-9 TEL:048-711-3241 / FAX:048-711-3242

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館911号室 TEL:03-3508-7467 / FAX:03-3508-3297

◀発行▶自民党埼玉第一選挙区支部(岩槻区・浦和区・緑区・見沼区) 〒330-0061さいたま市浦和区常盤9-27-9 令和元年6月発行【討議資料】